



# 学校だより

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho> Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

調布市立調和小学校  
令和8年1月30日(金)  
校長 安藤 力也

## 静かに育つ春

副校長 佐久間 信介

寒さの厳しい日々が続いていますが、暦の上では立春を迎えます。校庭の木々や日差しの中に、少しずつ春の気配を感じる頃となりました。自然界では、目には見えなくとも、次の季節に向けた準備が静かに進んでいるようです。

学校においても、同じような光景が広がっています。子どもたちは、この一年間、日々の学習や生活の中で、少しづつ力を積み重ねてきました。学習面での伸びはもちろんのこと、友達の話を最後まで聞こうとする態度、自分の役割を意識して行動する責任感、困っている人にそっと手を差し伸べる優しさ、互いの違いを認め合おうとする姿勢など、数値では測ることのできない静かな成長が、確かにあります。

こうした成長の姿は、近日開催されるミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックが、私たちに示してくれる価値とも重なります。大会では結果や記録が注目されがちですが、その背景には、長い時間をかけた努力や、思うようにいかない中でも挑戦を続ける姿があります。特にパラリンピックでは、一人一人が自分なりの方法で困難を乗り越え、支え合いながら競技に向き合う姿が、多くの人の心を動かします。

学校生活においても、すべての子どもが同じ速さで成長するわけではありません。それぞれが異なるよさや課題を抱えながら、自分のペースで前に進んでいます。大切なのは、結果だけを見るのではなく、そこには至るまでの努力や工夫、挑戦の過程に目を向けることです。「できるか、できないか」ではなく、「できるまで、できるか、できないか」です。その積み重ねが、やがて大きな力となって表れてきます。

2月は、年度末に向けたまとめの時期です。これまでの自分を振り返り、「できるようになったこと」と「がんばってきたこと」に気付くことは、次への一歩を踏み出す自信につながります。立春を迎える今、子どもたちの内面には、次の成長へつながる確かな根が張られていると感じています。

今月予定している学校公開・道徳授業地区公開講座では、こうした子どもたちの姿や、努力の過程を大切にしている本校の教育活動の一端を、保護者や地域の皆様にも御覧いただければと考えています。子

どもたちの静かな成長やオリンピック・パラリンピックが示す挑戦、多様性、支え合いなどの精神を、身近な学校生活の中で感じていただければ幸いです。

本校では、これからも一人一人の静かな成長を大切にし、安心して挑戦できる学校づくりを進めてまいります。残りの一日一日を大切にしながら、今年度のまとめと次年度への準備を着実に進めていきます。今後とも、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

